

gakuto

学塔



Autumn 2015

No.135



クローズアップ
自著を語る。
「市民性を育成する地理授業の開発」

ここから広げよう
各学部の先生からのオススメ本

From Students
時間外開館担当職員さんに聞きました!

写真部「6月部展」開催

ブッククロウのPick Upコーナー!!!
企画展示『民法のこれまで』開催報告

**学生ボランティアと図書館職員
による自転車整理活動報告**

オープンライブラリー開催報告

**Westlaw Japan (法律情報
データベース) 講習会開催報告**

News!

秋の文献検索講習会を開催します!

特集

**卒業論文・修士論文の
準備はお済みですか?**

三重大学教育学部教授
永田成文 先生



【社会科学という教科や地理歴史科の科目として、市民的資質の育成を担う地理】

「まずは、先生の現在の研究の紹介をお願いします。」

地理教育において、社会をよりよくするためにどうすればいいのかという市民性の育成、市民的資質の育成を研究しています。具体的に言うと、現在は世界的に持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development: ESD)を推進するという流れがありまして、地理教育における持続可能な社会を形成する学習の導入が要請されています。地理学習を通して、学習者が持続可能な社会を形成するための行動の変革を促すことが求められています。そのために、様々な地域レベル(身近な地域、県、国、世界)の課題について、どのように解決していくかを考えるなど、行動の変革を促すための地理教育のあり方を考えています。

【新しい地理教育について】

「図書の紹介」

私は、教育の現場にいたこともあり、私が現場にいた頃、地理教育は地名物産の地理といわれていて、どのような地域でどんなものが生産されているのか、どのような人が住んでいるのか、どのような自然環境があるのか、ということを覚えることが中心でした。そのような中で、現代社会の諸課題を取り上げること

【授業に参加し、自分で考えてもらう工夫】

「平成元年度の学習指導要領での教育に切り替わるとき、先生は現場にいろいろやりました。第二の地理教育導入という変化にも柔軟に対応された姿が、この図書から伺えます。」

地理は人間理解が重要だと思っていたので、例えば旅行というアイデアを取り入れて、行ったつもりになって体験を書くというところで、ワーキングホリデー制度で旅行の計画を考えてみる授業を行いました。疑似体験すること、これは、人と人との触れ合いをイメージすることです。そこで何か小さな摩擦が生ずる。その摩擦にどう感じたか、どう対応していけばいいのかを考えると、何かを提案する活動がよりよい社会を形成することに結びつくんだなと思いました。

また、2001年にJICA(国際協力機構)の派遣でマラウイに行き、貧困の実態の様子を見る機会がありました。このことが地理的課題の一つである世界の貧困について考えるきっかけになりました。そしてJICAで開発教育が推進されておりました。参加型学習というものが取り入れられていました。先生が言ったことや黒板に書いたことをメモするのではなく、まさしく自分で考えたことを発表するなど参加していく学習方法です。一般的な授業では、教師の発問に対して知識が求められることが多い。一部の活発な子だけが発言することもありますが、みんなが参加し発表できる手法として、なんでも思っただけを述べてよいブレインストーミングが推進されています。また、フォトランゲージの手法があります。写真を提示して、そこから何が読み取れるかを話し合っただけでなく、授業に参加してほしいというのがありますので、その面での工夫を第一に考えました。

【他者の意見にふれ、行動の変革に結びつける工夫】

「グループ単位でのディスカッションも先生の授業の計画に含まれていました。異文化理解とかになると、自分とは異なる価値観を持つ人との話し合いが効果あると考えられます。グループ学習のメリットは？」

学習が進み高等学校になれば、より客観的に考えていくようになります。客観的に考えていくのであれば、他者の意見や実際の資料やデータが必要となります。グループ学習の結果としては、グループの中で考えを一つにまとめるというものもあり、グループの中で出たいろんな意見(異なる価値観)を認識するというものがあります。重要なのは、その結果に対して、どのような対応ができるかです。多面的多角的な視

『市民性を育成する地理授業の開発：「社会的論争問題学習」を視点として』



〈風間書房、2013.2〉
[所在] 図・展示棚
[請求記号] 375.39/N23



が、平成元年度の学習指導要領で示されました。その中に異文化理解と地球の課題の内容があります。異文化理解は宗教などの対立による文化摩擦問題が含まれます。地球の課題の中には、地球温暖化や環境破壊問題、経済格差問題などがあります。そういった問題について、児童・生徒が現状や原因をつかむばかりでなく、解決策を考えていくことが必要なのではないかと思いました。よりよい社会に向けて自分の考えを発表し、授業に参加していく手法を社会参加学習と言います。現代社会の諸課題をテーマ的に取り上げる学習、第二の地理教育と位置付けられます(第一は地誌的学習、第二は系統的地理的学習)。社会参加学習を地理教育の中でやっていけば、児童・生徒の行動の変革を促すことにつながると考えたのです。もともと生徒の興味をわくような授業をどうやって作るのかという思いからはじまったのですが、そうしたら児童・生徒に考えさせる教育が必要なのではないかと思に至りました。地理教育は、もともと地理科として単独の教科でした。戦後社会科の中に位置づけられました。社会科の中に位置づけられたということは、社会科の究極目標である市民的資質の育成を考えていかなければいけません。そして最後はよりよい社会を形成していく、そこに繋がらなければいけないと思っています。自分が実践し、研究してきた授業を何とか一本の線で繋げることができないかを考え、市民性を育成する授業として、社会的論争問題学習という授業理論を考え、それに対応した授業実践を開発しました。

【学生に応じて毎年工夫が必要】

「新しい教育に対して、乗っかってこない学生もいると思うのですが、どのように対応されていますか？」

点ということ、あ、このような面から見ていくのか、「こんな意見があったのか」という考えができて、結果として学習者の行動の変革へ結びつくことができると考えています。



【何か残せるものを作る】

「三重大学の学生に対する印象、メッセージ」

三重大学の学生はとて素直で授業や研究指導がしやすいです。学生の皆さんには三重大学の4年間で、何か残してほしいです。その残せるものの一つが卒業研究です。ゼミでディスカッションをして、仲間同士で高め合って、その完成度も大切ですが、自分のオリジナリティを持ったものが何か一つでも提案できるように、頑張してほしいと思います。

永田先生プロフィール

三重大学教育学部教授。大学院修了後、小学校や中学校、高等学校の教諭として教育現場において地理教育に携わる。2004年に三重大学の教員となり、教育現場における授業実践をもとに市民性を育成する地理授業をテーマとして、カリキュラムや授業構成について研究している。現在は、ESD(持続可能な開発のための教育)の視点を導入した地理授業を中心に検討している。

ここから広げよう!!各学部の先生からのオススメ本

READING LIST



教養教育機構 下村智子 先生

二宮浩 編著
『世界の学校：教育制度から日常の学校風景まで。新版』
学事出版、2014年1月出版
[所在] 図・開架・図書
[請求記号] 372/N76

本書は、世界22カ国の学校の日常風景を描き出すとともに、各国の教育制度や近年の教育改革の動向についてまとめられた本である。学校での日々の営みには、その国の歴史、思想、文化や社会的背景が反映されている。本書を通して、世界各国の学校を楽しみながら「旅」すると同時に、私たちが過ごしてきた学校における「常識」に目を向けてみて欲しい。

生物資源学部 松井隆宏 先生

山本茂実 著
『あゝ野麦峠：ある製糸女工哀史。新版』
朝日新聞社、1972年12月出版
現在、品切れ再販未定品
[所在] 図・書庫
[請求記号] 366.35/Y31

昨年6月に群馬の富岡製糸場が世界遺産登録されたことは記憶に新しいが、本書は、糸糸の最大の産地であった信濃(長野)を舞台にしたノンフィクション文学である。現在の私たちの生活が過去の農村のどういった暮らしの上に立つのかを教えてください。貧しさとは何であるのかについて改めて考えさせてくれる一冊である。昨今の社会問題に通ずるところもあり、一読をお勧めしたい。

工学部 成瀬央 先生

江口弘文 著
『初めて学ぶPID制御の基礎』
東京電機大学出版局、2006年7月出版
[所在] 図・開架・図書
[請求記号] 501.9/E33

利便性を高めるために、自動車や電気製品など私たちの生活を支える物品にはさまざまなセンサーが取り付けられており、その出力に基づいて適切に制御されている。本書はこのような制御工学について、古典制御理論から現代制御理論までの基礎的内容がわかりやすい例題とともに解説されている入門書である。自習用の教科書としてもお勧めできる。

医学部 江藤由美 先生

ジョセフ・ジャウォースキー 著
野澤智子 訳
『シンクロシティ：未来をつくるリーダーシップ増補改訂版』
英治出版、2013年2月出版
[所在] 図・開架・図書
[請求記号] 159/J29

物語は、作者がウォーターゲート事件に直面したことで、真のリーダーとは何かを求めて旅に出、さまざまな方と出会い、アメリカン・リーダーシップ・フォーラムをつくるまでの話である。偶然に思える出来事があなたの身に次々起こった…。人生の岐路に立ち決断が必要な時、いかに生きるべきか悩む時、特に若い方々に参考になる本としてお薦めの1冊です。

教育学部 松本昭彦 先生

倉本一宏 著
『平安朝皇位継承の闇』
KADOKAWA、2014年12月出版
[所在] 図・開架・図書
[請求記号] 210.36/Ka53

説話集や歴史物語には狂気の天皇の話が多い。平城天皇・陽成天皇・冷泉天皇・花山天皇といった天皇たちである。それぞれ、狂暴・好色・奇行などの説話が残る。しかしこれらの天皇の時代は皆、皇位継承からむ権力闘争の時期であり、その敗者の側の天皇たちである。このころは、皇位を勝ち取った側のリークした情報をもとに説話ができあがった可能性を示唆する。その政治的背景の深読みが面白い。

人文学部 深田淳太郎 先生

早川真悠 著
『ハイパーインフレの人類学：ジンバブエ「危機」下の多面的貨幣経済』
人文書院、2015年2月出版
[所在] 図・開架・図書
[請求記号] 337.9481/H46

2007-09年、ジンバブエは未曾有のハイパーインフレを経験した。2008年7月のインフレ率は2億%を超え、行列に並んでいる間に商品の値段が2倍に上がり、公務員の給料はバスに一回乗って終わる。本書は当時のジンバブエで一生活者として暮らしていた著者が、この困難・混沌の渦中で人々がどのように生きていたのかを、周囲の人々の日常的なやり取りを通して鮮やかに描き出す。

特集

学生生活の集大成として取り組む卒論や修論。図書館をフル活用して、良い論文の執筆をめざしてください。図書館では、どんな役立つことが待っているのか、見てみよう！

図書館サービス
使わなきゃ
勿体ないね！

書庫

図書館の図書は、自由に行き来できるスペースにあるだけではないのです！
三重大OPACで検索をして、所在が「図・書庫」の本は、図書館1階カウンターで出納の申し込みをしてご利用ください！
※院生の方、「閉架書庫利用のためのガイダンス」にご参加いただいた学部学生の方は、書庫に入ることができます

図書の貸出（開架図書、書庫内図書合わせて）

	院生		学部生	
	冊数	期間	冊数	期間
一般貸出	10冊	14日	5冊	14日
長期貸出（論文作成）	+10冊	3ヶ月	+5冊	3ヶ月

注目!! 院生、卒業研究中等である学部最終学年の学部生の方が論文作成に使用する図書は、一般貸出とは別枠で、3か月の長期貸出ができます！
長期貸出（論文作成）は、1階貸出カウンターで手続きができます。

研究個室

大学院生の方、各学部の最終学年の方がご利用いただけるスペースです。集中して論文執筆をしよう!とがんばる皆さま、ぜひご利用ください。デスクライト、パソコン用コンセントタップ付きです。



雑誌

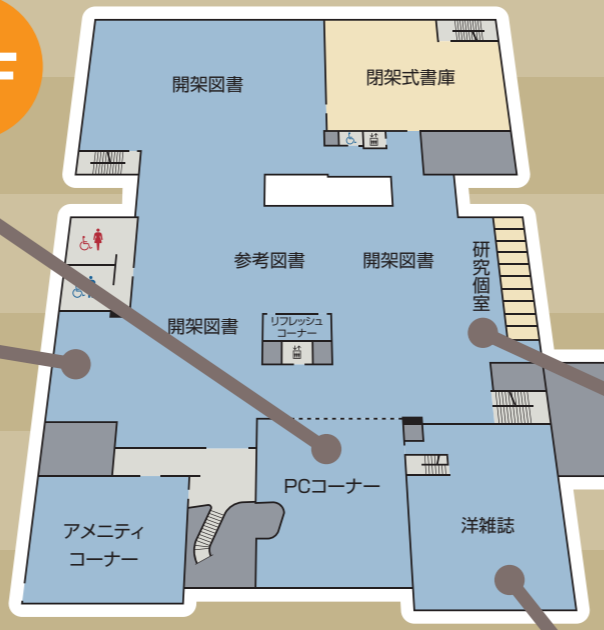
卒論、修論の執筆に先行研究の調査は欠かせません!役立つ論文を、図書館で探してください。雑誌は、雑誌名のABC順（大学紀要は、大学名のABC順）に並んでいます。また、論文は電子ジャーナルでも読むことができます。附属図書館ホームページより、本学で利用できるタイトルの確認ができます。



3F



2F



1F



(※) Webサービス
図書館提供のサービスの申し込みが、Webで出来ます。
対象サービス：資料の取寄せ、図書購入リクエスト、予約、返却期限の延長
統一アカウントでログインをして、ご利用ください！
窓口はこちらから [附属図書館ホームページ]→[オンライン申し込み]→[Webサービス(Myポータル)へログイン]

パソコンコーナー

論文執筆のほか、データベースでの蔵書検索、論文検索、電子ジャーナルの閲覧などができます。

三重大で利用できるデータベースの一覧や電子ジャーナルリストはこちらから

[附属図書館ホームページ]→[データベース]→[データベース一覧]

[附属図書館ホームページ]→[電子ジャーナル]→[電子ジャーナル]

注目!! 図書館では、10月に文献検索講習会を開催します。先行研究調査で迷っていらっしゃる方、ぜひご参加ください！
詳細は、
[附属図書館ホームページ]→[お知らせ]から!

注目!! Webサービス(※)から、図書館で所蔵していない図書が購入リクエストできます。利用をお知らせし、ぜひリクエストしてください。



論文執筆のための資料コーナー

論文執筆の時、参考となる図書が並んでいるコーナーです!



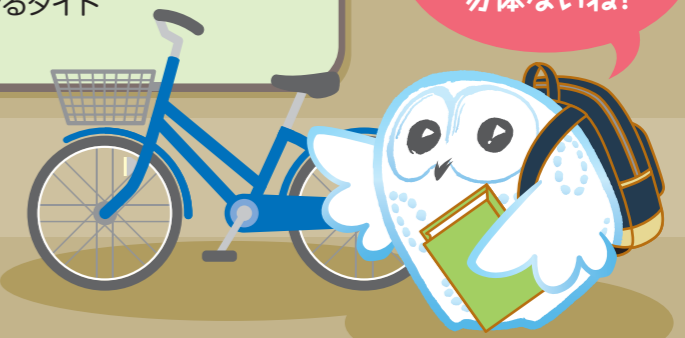
「これから論文を書く若者のために：究極の大改訂版」
酒井聡樹著/共立出版 [請求記号] 816.5/Sa29

参考調査カウンター

(9:00~17:00)

ILL (相互貸借)
三重大に所蔵が無い資料は、取り寄せができます!利用できないとあきらめずに、ぜひ申込みをしましょう!資料の取り寄せ申込は、Webサービス(※)からもできます。

レファレンスサービス
情報探索で困ったことがあったら、ぜひ相談に来てください!「この統計情報って、どの資料に掲載されているの?」「この種類の情報を探している場合には、どのデータベースを使えば良いの?」などの質問に、おこたえします。



From Students

三重大学図書館

時間外開館担当の職員さんに聞きました!

平日の夕方や土日に、図書館で働いてくれている学生さんお二人に、卒論や修論の執筆に役立つ図書館サービスや、お薦めの場所を教えてくださいました!



生物資源学研究科
柴田隆豊 さん

私はDNAの複製メカニズムについて研究しているのですが、研究を進めるために必要な最新の知見を得るために、電子ジャーナルをフル活用しています。またILLと呼ばれるサービスを活用して、他館から素早く文献を取り寄せることもできるためとても助かっています。お薦めの場所は、各学部の最終学年のかた、大学院生のかたが利用できる研究個室です。一人一部屋になっていますので、集中して作業に取り組むことができます。卒業論文や修士論文の執筆には最適な場所だと思いますので、ぜひ活用してみてください。



生物資源学部
近藤彩映 さん

図書館でお薦めの場所は2階にある研究個室です。鍵のついた個室で、静かに集中して学習することが出来ます。個室といっても一人には十分で、とても快適なスペースです。書架の隣にあるので、参考資料が欲しい時にはすぐに探しに行くことが出来ます。また図書館では、閲覧したい資料探しのお手伝いをするレファレンスサービスを行っています。欲しい資料が見つからない時にはカウンターまでお越しください。

写真部「6月部展」開催

開催報告が、写真部の皆さまから届きました!!

2015年6月26日～2015年7月3日、附属図書館1階の玄関ホールにて三重大学写真部が「6月部展」を開催しました。今年度から仲間になった新入部員には、フィルムカメラを貸し出して白黒写真に挑戦してもらいました。入部して2か月でしたが、それぞれの個性を発揮してくれました。2年目以上の部員は自由作品を出展しました。季節を意識した写真やそれまで撮り貯めてきたものから、自分の好きなものをアピールした作品などこちらも様々な色を見せてくれました。図書館をお借りしたことで色々な方に写真を見て頂くことができ嬉しかったです。

綺麗で自然な色を表現するためには、やはり経験を積む必要があるんですね。



白黒写真は、被写体の本当の色を想像しながら見ると、より深い鑑賞が出来そう!





Pick Up!

ブック回りの

ick Up コーナー!!

図書館のホームページ

<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
から Check it out !!

企画展示『民法のこれまで』開催報告

6月11日～8月5日に企画展示「民法のこれまで」を附属図書館玄関ホールで開催しました。約120年ぶりの民法大改正に合わせたものです。

民法的な内容の含まれる『御成敗式目』が寺子屋の教材として利用されていたこと、『棠陰比事』などの裁判記録が読み物として親しまれたこと、また明治維新以降の民法が成立するまでの経緯や、さまざまな種類の六法全書で民法が浸透したことを紹介しました。全28点の展示でした。

展示には人文学部の上井長十准教授、稲垣朋子准教授、吉丸雄哉准教授、人文社会科学部大学院生の海野奈保さん、稲本紀佳さんにご協力いただきました。



学生ボランティアと図書館職員による自転車整理活動報告

7月1日～8月7日に、学生ボランティアの方々と図書館職員による共同活動として、図書館玄関前の駐輪自転車の整理活動を行いました。

学生ボランティアの皆さま、そして図書館をご利用いただいた学生の皆さまのご協力により、比較的整理された状態を維持することが出来ました。ありがとうございました。

通路に自転車が駐輪されていると、緊急車両の通行に支障が出ることも想定されます。皆さまのご協力を、改めてお願いします!



オープンライブラリー開催報告

8月7、10、11日に、大学のオープンキャンパスに合わせて「オープンライブラリー」を開催しました。

玄関ホールで附属図書館を紹介したスライドショーをご覧いただいたり、自由に図書館内の様子を見学していただいたりしました。

蔵書量の多さに驚かれた方や、ラーニングcommonsのようにディスカッションできるスペースがあることに興味をお持ちいただいた方などがいらっしゃいました。

昨年度を大幅にこえる約1300名の皆さんにご来館いただきました。



Westlaw Japan (法情報データベース)講習会開催報告

4月15日、7月2日にウエストロー・ジャパン株式会社より講師をお招きし、法情報データベースWestlaw Japanの講習会を開催しました。講師の説明にあわせて実際に検索実習を行いました。

参加者からは、「実践を交えた講習で、講師の方の話も分かりやすくよかった」「使っていない機能がたくさんあったので、今後利用していきたいと思う」といった感想が寄せられました。



ブック回りのPick Up コーナー

News! 秋の文献検索講習会を開催します!

	10/19 月 MON	10/20 火 TUE	10/21 水 WED	10/22 木 THU	10/23 金 FRI
10:30~12:00	国内+海外 (理系)	Web of Science and EndNote ※	国内+海外 (文系)	SciFinder	国内+海外 (理系)
13:00~14:30	国内	Web of Science and EndNote	国内	SciFinder	国内

国内 ← CiNii Articlesを使って国内文献の入手方法を学びます

国内+海外(理系) ← 国内文献に加え、機関リポジトリ等で公開されている海外文献の入手方法を学びます

国内+海外(文系) ← 国内文献に加え、Web of Scienceを使って海外文献の入手方法を学びます

Web of Science and EndNote ← 外部講師を招いて、海外文献検索データベースWeb of Science、文献管理ツールEndNoteを詳しく学びます

SciFinder ← 外部講師を招いて、化学系の論文検索データベースSciFinderを学びます



実施期間・内容は左の日程表で確認してください。

時間：午前 10:30~12:00
午後 13:00~14:30

場所：附属図書館2階パソコンコーナー
※10/20 10:30~12:00は総合情報処理センター

予約優先：参考調査カウンター、E-mail、電話にて参加の予約をしてください。

連絡先：附属図書館利用者サービス担当 (情報リテラシー)

【メール】
literacy@ab.mie-u.ac.jp
【電話】
059-231-9089

ご予約をお待ちしています!

授業「教養ワークショップ」推薦 新書コーナーができました

授業「教養ワークショップ」(教養教育1年次・後期必修)の推薦図書が、館内の専用コーナーでご覧いただけます。新書を読んで書評を書いたりする図書を選ぶときに、ぜひご利用ください!約100冊を並べています。教養ワークショップ推薦新書コーナーの図書は、館内でご利用ください。

教員執筆寄贈図書リスト (2015年1月~6月受入分)

- 内田淳正 学長顧問/『60歳からの成長：禿髪学長の通信より』 内田淳正、三重大学出版会、2015.3、図・展示棚 医・医学科図書室 [914.6/U14]
- 内田淳正 学長顧問/『内田塾：“まちを良くしよう”とする肩書きをはずした志のある人の集まりの場』 内田塾編集委員会編、内田塾編集委員会、三重大学地域戦略センター、2015.2、図・展示棚 医・医学科図書室 [519.8/U14]
- 尾西康充 副学長/『近代文学草稿・原稿研究事典』 日本近代文学館編、八木書店、2015.2、図・展示棚 [910.26/Ki42]
- 尾西康充 副学長/『東アジアにおける旅の表象：異文化交流の文学史』 王成、小峯和明編、勉誠出版、2015.4、図・展示棚 [290.9/H55]
- 小澤毅 人文学部教授/『鬼が塩屋遺跡』 三重大学人文学部考古学研究室編、三重大学人文学部考古学研究室、2012.12、図・開架 図書 [215.6/O67]
- 洪恵子 人文学部教授/『国際刑事裁判所：最も重大な国際犯罪を裁く。第2版』 村瀬信也、洪恵子共編、東信堂、2014.9、図・展示棚 [329.66/Ko51]
- 田中亜紀子 人文学部教授/『戦前期における社会事業の展開：自由と全体性の変遷をめぐって』 杉山博昭研究代表者、社会福祉形成史研究会、2015.2、図・展示棚 [369.2/Su49]
- 山崎明日香 人文学部特任教授/『Verkörperte sprache ; rahmen und rahmenbrüche』 Herausgegeben von der Japanischen Gesellschaft für Germanistik, Iudicium, c2015、図・展示棚 [845/V61]
- 原田三千代 教育学部特任講師/『「協働性」に着目した第二言語教室活動としてのピア・レスポンスの可能性：活動プロセス・作文プロダクト・学習者の認識の観点から』 原田三千代、外文出版社、2011、図・展示棚 [807/H32]
- 原田三千代 教育学部特任講師/『共生日本語教育学：多言語多文化共生社会のために』 野々口ちとせほか編、雄松堂出版、2007.10、図・開架 図書・図・展示棚 [810.7/Ky5]
- 原田三千代 教育学部特任講師/『フィードバック研究への招待：第二言語習得とフィードバック』 大関浩美編著、くろしお出版、2015.2、図・展示棚 [807/F24]
- 原田三千代 教育学部特任講師/『ピア・レスポンスの何が文章の質的向上と評価結果に影響するのか』 研究代表者 中尾桂子、[中尾桂子]、2015.3、図・書庫 科研報告 [816/N41]
- 緒方正人 医学系研究科長/『三重大学医学部創立70周年記念誌』 記念誌発行編集委員会、医学部創立70周年記念事業実施委員会、2015.3、図・開架 図書・医・医学科図書室 (看護) [377.34/Mi15]
- 楠正人 医学部教授/『大腸外科学書』 楠正人編著、金芳堂、2015.1、図・展示棚 医・医学科図書室 [494.65/Ku93]
- 田畑務 医学部准教授/『腹式単純子宮全摘術：広汎子宮全摘術につながる：産婦人科手術スーパーレッスン：手術の流れがよくわかる! 手術動画DVD付き』 田畑務、メディカ出版、2015.4、医・医学科図書室 [495.45/Ta11]
- 今井正次 名誉教授/『設計力を育てる建築計画100選』 今井正次、櫻井康宏編著、共立出版、2015.4、図・展示棚 [525.1/Se44]
- 木村清志 生物資源学部教授/『Fishes of the northwestern Johor Strait, Peninsular Malaysia』 edited by Seishi Kimura ... [et al.], Universiti Putra Malaysia Press, Mie University, 2015、図・展示棚 [487.5239/F28]
- 陳山鵬 生物資源学部教授/『力学の基礎：詳説大学』 陳山鵬編著、DET LLP、出版、2015、図・開架 図書・図・展示棚 [423/J52]
- 陳山鵬 生物資源学部教授/『回転機械設備診断の基礎と応用：Q&A社会・生産プラントの安全・安心のための』 陳山鵬、三恵社、2009.4、図・展示棚 [509.6/J52]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『日本文化概論2 歴史編2・近現代1』 藤田昌志、[藤田昌志]、2012.1、図・展示棚 [302.1/F67/2]
- 川口祐二 附属図書館研究開発室客員教授/『明平さんの首：出会いの風景』 川口祐二、ドメス出版、2015.1、図・展示棚 [661.8/Ka92]

【見かた】 ●寄贈者 所属/『書名』著者名、出版社(者)、出版年月、所在 [請求記号]

編集後記



●表紙の写真：NEWS!のコーナーでご紹介したとおり、後期の授業「教養ワークショップ」(教養教育1年次後期必修)の推薦図書が、図書館1階の専用コーナーに並んでいます。ぜひ図書選びにお役立てください!

図書館の玄関ホールには、白いふくろうの像「教育の神様」(愛称:ブックロウ)があります。製作者の宮田脩平先生(三重大学名誉教授、金属工芸作家)より、5月に飾り皿をいただきました。とても表情が可愛いふくろうの、素敵なお皿です!参考調査カウンターに飾っていますので、ぜひ見に来てください。

「教育の神様」は、学塔で活躍している図書館マスコットキャラクターブックロウのオリジナルです。今までの号で、ブックロウは様々な衣装を着ています。今号では、大学生風ブックロウがどこかにいますね。

ブックロウにどんな衣装を着てもらおうか、そのアイデアを考えることが、学塔編集の時の大きな楽しみになっています。